アジアの本人からのメッセージ

◇ **韓国の本人からのメッセージ**

＊参考動画の紹介

◇ **台湾の本人からのメッセージ**

◇ **他の国の本人からのメッセージ**

＊交流のある日本の本人から会場でお伝えします。

韓国の本人からのメッセージ

■イ・キボムさん（韓国在住、男性、63歳）

こんにちは、私は仁川広域市に住んでいる今年63歳のイ・ギボムです。
元々、仁川市で40年近く公務員生活をした後、定年退職しました。

現在、時々、記憶力が曖昧になり、おかしいという感じ、病院に行って検査した結果、多くの脳細胞が死んでいるという診断を受けました。

最初はショックを受けましたが…別に記憶力が少し衰えていること以外は…社会生活には大きな支障もないので、あまり気にしないことにしました。どうせ歳をとれば、人は少しずつ老いていくんだから、楽に考えながら生きよう、そう思えば別に不便なこともないし、もう歳をとったら隣の人が助けてくれることも当たり前だから、当然と思って、楽に生きよう、そう思って生きています。

そして、まあ…. 薬を飲まなければならないわけでもなく、病院では、まあ…治療方法がないという話もありますが…忘れるのも一つの方法なので、気楽な気持ちで生きていこうと思っています。

友達と…同じような友達もたくさんいるので、お互いに理解し合いながら、そうやって笑って生きていこうと思っています。泣いても治らない病気じゃないですか？
そんなもの…みんな笑って生きましょう。気楽に。

☆翻訳：明治学院大学　社会学部　社会福祉学科　　金　圓景　准教授

■カン・ジュヨンさん（女性、64歳）

こんにちは。私は韓国に住んでいる64歳のカン・ジュヨンです。

私は英語教師として30年間勤務し、2年前にアルツハイマーと診断され、今は認知症克服希望大使として参加しています。周りの人は、認知症があるのにどうやって生きていくのかと言いますが、私はよくできると思い、一生懸命今まで頑張って生きています。

だから、映像を見る多くの人に勇気をもって生きてほしいと思います。

それでは、私と一緒に叫んでみましょう。

I can do it. You can do it. We can do it.

ありがとうございます。

☆翻訳：明治学院大学　社会学部　社会福祉学科　　金　圓景　准教授

参考動画

❶ ソウル市江東認知症安心センターを利用している当事者（一人暮らし、ナム・チョルヨンさん）とその支援に携わっている市民後見人の活動様子
（韓国のケーブルテレビ局「D-Live」放送）

https://www.youtube.com/watch?v=teh2M-kasqY

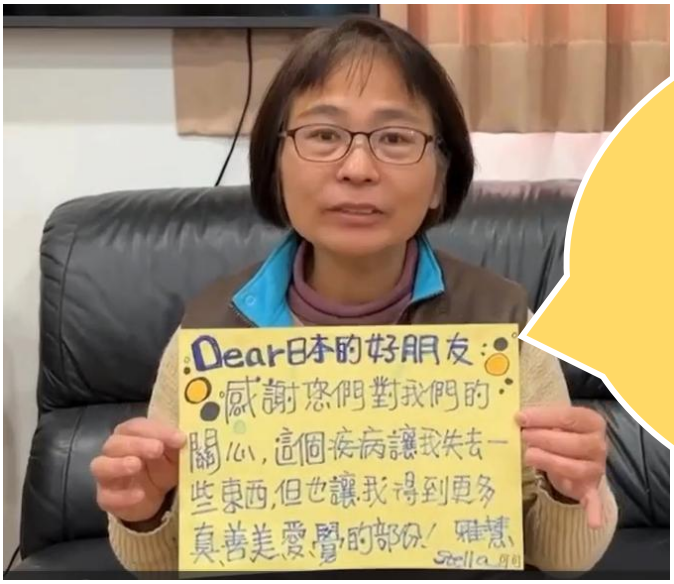
❷ 仁川広域認知症センターの啓発活動（認知症克服デイ）及び当事者の始球式での様子

https://www.youtube.com/watch?v=Rn6rwH3rzYY

※ ❶❷ともに、韓国語の動画です。Youtubeの字幕翻訳機能等をご利用ください

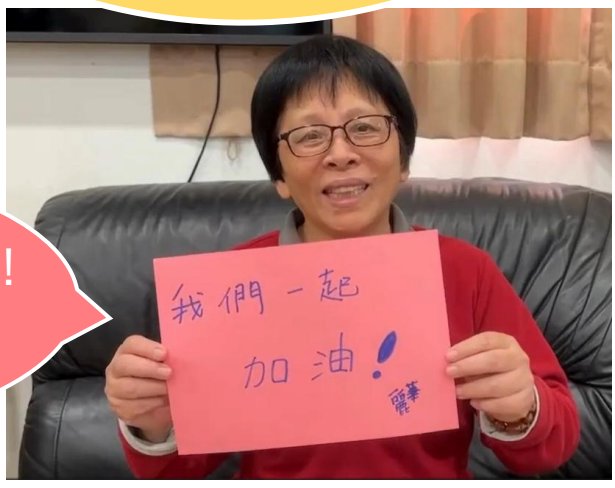
台湾の本人からのメッセージ

私たちにはお伝えしたいことがあります！



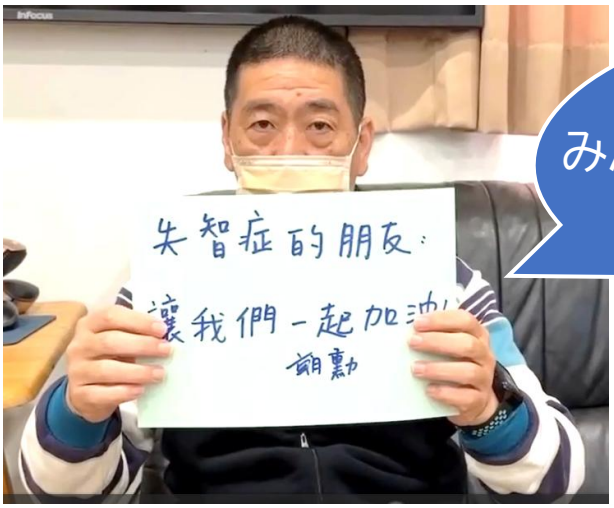
私たちに温かいご関心を寄せてくださり、心から感謝いたします。この病気は私たちからいくつものものを奪いましたが、その一方で、真(まこと)、善(ぜん)、美(び)、そして愛をより深く感じることができました。

蔡雅恵



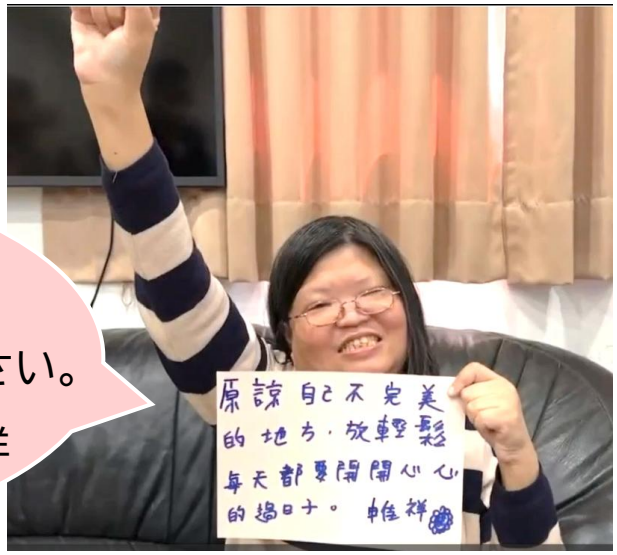
みんなで一緒に頑張りましょう！

蔡麗華



認知症の仲間たち、
みんなで一緒に頑張りましょう！

陳朝勳

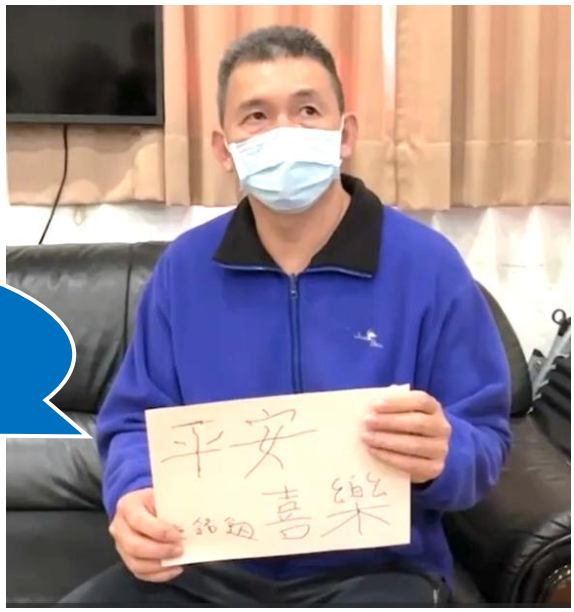


自分の不完全なところを
許して、リラックスしましょう。
毎日を笑顔で楽しく過ごしてください。

申佳祥

自分をもっと大切にしてください。
自分の心に正直に生きて、
体を大事にして、どうかお元気で。

劉芋彤



平安と喜びを祈ります。

施銘鈕

令和6年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金
「共生社会の推進のための認知症の本人参画に関する国際ネットワーク構築に向けた調査研究」

国内外の認知症当事者がバトンをつなぐ
希望のリレー　国際フォーラム　2025
～認知症当事者の声とチカラ、つながりを活かして、共生社会の推進を～

2025年2月14日

社会福祉法人浴風会　認知症介護研究・研修東京センター